

だざいふ 議会だより

令和3年
2/1
第166号



新型コロナウイルス感染防止対策に
取り組む事業主のみなさんに
太宰府コロナ減ステッカー
を配布しています。

コロナに負けずに感染防止対策に取り組む事業主さまを訪ねました。

議会の傍聴について 議会傍聴の際の感染症対策を実施しています。マスクを必ず着用してください。

本会議場の傍聴人数は通常は51名ですが、状況により傍聴人数の設定を変更することがあります。詳しくは議会事務局までご確認ください。

3月定例会の日程(予定)

会議の開始時刻は午前10時からです。(3月17日の予算特別委員会予備日は除く)

日	月	火	水	木	金	土
2/21	22	23	24	25	26	27
				本会議 市長提案理由説明 予算特別委員会		
28	3/1	2	3	4	5	6
	本会議 質疑・委員会付託		総務文教 常任委員会	環境厚生 常任委員会	建設経済 常任委員会	
7	8	9	10	11	12	13
		本会議 一般質問	本会議 一般質問	本会議 一般質問 (予備日)		
14	15	16	17	18	19	20
	予算特別 委員会	予算特別 委員会	予算特別委員会 (予備日) ※午後2時開始		本会議 委員長報告・質疑 討論・採決	

10月・11月臨時会リポート	36P
12月定例会リポート	36P
一般質問	38P
常任委員会所管調査報告	45P
常任委員会意見交換会報告	46P



○令和2年度一般会計補正予算(第7号)

◆予算総額は歳入・歳出ともに347億2,711万9千円になりました。主な歳出は以下の通りです。

歳 出 の 主 な も の		
費 目	補正予算額	主 な 事 業 と 予 算 額
総務費(企画総務費)	310万円	令和プロジェクト(元号令和の考案者とされる中西氏を招いてのイベント) 実行委員会補助金 310万円
社会福祉費 (障がい者自立支援費)	1億2,225万円	障がい者の介護・訓練等給付費 6,920万円 障がい児通所支援給付費 4,500万円
保健衛生費(保健予防費)	683万円	胃がん検診等の健康診査委託料 550万円
商工費(観光費)	445万円	年末年始コロナ対策マスク購入費 31万円 年末年始コロナ対策サーモグラフィー購入費 160万円 客館跡Wi-Fi整備工事 253万円
保健体育費(保健体育総務費)	120万円	オリンピック聖火リレー事業費 120万円
職員手当(会計年度任用職員以外)	△559万円	期末手当率の改定 0.05月分の引き下げ

10月臨時会全会一致で可決した議案

案件	議案番号等	案 件 名	議決結果
1	報告第12号	専決処分の報告について(発掘現場での強風によるフェンスの転倒事故の損害賠償の額の決定)	－
2	議案第54号	反訴の提起について	原案可決

11月臨時会全会一致で可決した議案

案件	議案番号等	案 件 名	議決結果
1	報告第13号	専決処分の報告について(市が管理する公園内の遊具による事故の損害賠償の額の決定)	－
2	議案第55号	太宰府市特別職の職員の給与等に関する条例等の一部を改正する条例について	原案可決

12月定例会全会一致で可決した議案

案件	議案番号等	案 件 名	議決結果
1	議案第56号	太宰府市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	同意
2	議案第57号	財産の取得(太宰府市立小中学校教育用タブレット端末(第2期))について	可決
3	議案第59号	太宰府市税条例の一部を改正する条例について	原案可決
4	議案第60号	太宰府市歴史と文化の環境税条例の一部を改正する条例について	原案可決
5	議案第61号	太宰府市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	原案可決
6	議案第62号	太宰府市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
7	議案第64号	福岡広域都市計画太宰府市下水道事業受益者負担に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
8	議案第65号	令和2年度太宰府市一般会計補正予算(第7号)について	原案可決
9	議案第66号	令和2年度太宰府市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)について	原案可決
10	議案第67号	令和2年度太宰府市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)について	原案可決
11	議案第68号	令和2年度太宰府市水道事業会計補正予算(第2号)について	原案可決
12	議案第69号	令和2年度太宰府市下水道事業会計補正予算(第2号)について	原案可決
13	議案第70号	財産の取得(太宰府市立小中学校大型提示装置)について	可決
14	発議第1号	太宰府市議会基本条例の一部を改正する条例について	原案可決

12月定例会賛否の分かれた議案

(個人ごとの表決結果を賛成○、反対×で表しています)

案件	議案番号等	案 件 名	結果	公明党		宰 光					市民ネット		新政会		共産党		未来		無会派
				具由美	剛	仲一	田久美子	江 寿	船 隆之	壮 一郎	永 洋介	市 弘行	長谷川公成	橋 本 健	上 疆	神 武 綾	藤 井 雅之	笠 利 毅	木 村 彰人
1	議案第58号	財産の取得（太宰府市緑地保護地区内）について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○
2	議案第63号	太宰府市部落差別の解消の推進に関する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○

※陶山良尚議長は本会議における過半数議決では表決権を有しません。

公明党:公明党太宰府市議団

市民ネット:太宰府市民ネット

新国会:太宰府新国会

※以下の会派名について、一部省略して記載しています。

共産党:日本共産党太宰府市議団

未来:未来のまち

無会派:会派に所属していない議員

陳 情 ・ 請 願

1	要望第4号	要望書(糟屋郡宇美町仲山自治区の粉塵被害に関する要望書)	環境厚生常任委員会に送付
---	-------	------------------------------	--------------

10月 臨時会リポート

○令和2年第4回臨時会(令和2年10月13日 1日間)

○反訴の提起

◆反訴を提起します。

⇒本市が所有する水路についての所有権移転登記請求の訴えに対して、本市に無断で設置したと思われる境界標の撤去を求める内容です。《議案第54号》

11月 臨時会リポート

○令和2年第5回臨時会(令和2年11月27日 1日間)

○条例改正

◆特別職等の期末手当の改定を行います。

⇒令和2年10月7日の人事院勧告に伴い、特別職、市議会議員、特定任期付職員及び一般職員の、12月の期末手当を0.05か月分引き下げます。《議案第55号》

12月 定例会リポート

○令和2年第4回定例会(令和2年12月2日～令和2年12月18日 17日間)

○教育委員会人事

◆^{くわのひろふみ}桑野裕文氏を教育委員に再任することに同意しました。

⇒太宰府市教育委員会委員 ^{くわのひろふみ}桑野裕文氏の任期満了に伴い、同氏を再度任命することに同意しました。《議案第56号》

○条例制定及び改正

◆市税条例を改定します。

⇒固定資産の所有者が不明の場合は、その使用者に事前に通知したうえで所有者とみなし、固定資産税を徴収することができるようになります。《議案第59号》

◆歴史と文化の環境税条例を3年間延長します。

⇒「太宰府市歴史と文化の環境税」は、これまで5回の適用期間の延長を行い、現在18年が経過しようとしており、本市の貴重な財源となっています。《議案第60号》

◆部落差別解消の推進に関する条例を制定します。

⇒本条例により、市の責務を明確にするとともに、部落差別の解消に努め、もって部落差別のない社会を実現することを目的に制定しました。《議案第63号》

◆太宰府市議会基本条例を改定します。

⇒太宰府市議会基本条例に、災害時の対応についての条項を加えます。《発議第1号》

○財産の取得

◆小中学校教育用タブレット端末を購入します。

⇒「GIGAスクール構想」における児童生徒1人1台の端末整備に向けて、小中学校教育用タブレット端末を870台、購入します。(3,826万円)《議案第57号》

◆小中学校大型提示装置を購入します。

⇒「GIGAスクール構想」の実現に向けて、学校のICT環境の整備に伴い大型提示装置(電子黒板)を187台、購入します。(4,468万円)《議案第70号》

◆緑地保護地区内の土地を取得します。

⇒「太宰府市緑地保護地区内大佐野緑地公有化事業」として、土地を購入します。(25,445㎡、4,987万2千2百円)なお、今回の土地購入で、公有化率は44.8%になりました。《議案第58号》



長谷川議員、徳永議員、木村議員、橋本議員の一般質問録画映像はこちらから



問 中学校教育における課題を問う

はせがわ 長谷川 公成 議員

Q 本市の中学校教育について3点伺う。

- ①通学校の選択が自由にできないか。また区域外就学の実態調査を行っているか。
- ②全中学校での通級指導教室の設置について。
- ③コミュニティ・スクールの取り組み状況について。



A 理事 ①通学校の選択について

は、メリット・デメリットを十分考慮した上で、今後の方向性を検討していく必要があると考えています。区域外就学の許可基準に基づいて許可している児童・生徒以外については、区域外就学の実態は把握していません。

- ②通級指導教室を設置するには、教室を確保する必要があります。教職員を確保する必要があります。ニーズや施設の状況等の把握を進めながら、全中学校での設置に向けて努力してまいります。
- ③学校ごとに計画、実施をしているため、地域

全質問項目
◇中学校教育について



問 踏切事故を防ぐ計画を

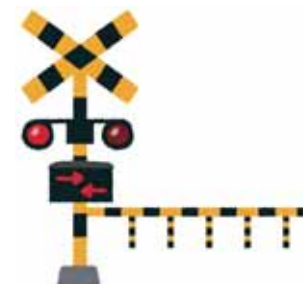
とくなが 徳永 洋介 議員

A 部長 ①本市の踏切数は合計28

か所で内訳は西鉄21か所、JRが7か所となっています。死亡事故は過去10年間にJRで2件、西鉄で1件発生しています。

- ②踏切道改良促進法の指定踏切の改良事業としてJR鹿兒島線の「市の上踏切」の拡幅が今年度に完了する予定です。

現在、他の踏切や接続する道路の整備計画はありませんが、大型開発への対応や渋滞対策など時代に適合した道路整備計画を検討してまいります。



全質問項目
◇本市の踏切・道路整備計画について



問 コロナ感染第3波に備えた防止対策は

きむら 木村 彰人 議員

Q 新型コロナウイルス感染第3波のさなか、地域経済を回復させるためには、感染拡大のリスクを負いながらも観光客を増やす取組が必要で、難しい対応が求められる。そこで2点伺う。

- ①太宰府天満宮には例年200万人の初もうで客がある。感染防止と地元経済の活性化を両立できれば新たな観光スタイルとなる。見解は。
- ②PCR検査など県が実施する感染防止策の実効性を高めるために本市はどう取組んでいるか。

A 部長 ①内閣府が取りまとめた業種別のガイドラインに基づく取組を進めるよう事業者に要請をしています。太宰府天満宮とも歩調を合わせて記者会見やホームページ等で分散参拝を呼びかけ、周知をはかっています。色々な事業を実施する事によりウィズコロナ時代の新たな観光スタイルを先取りする事ができると考えています。

- ②市として積極的に県への協力や予防対策の提案を行っています。福岡県インフルエンザ等対策行動計画の中に定められている県としての役割、市としての役割を果たし、連携を深め必要な対策を講じていきます。



全質問項目
◇新型コロナウイルス感染症の第3波に備えた感染防止対策について
◇景気悪化に伴う、今年度の事業費の見直しについて



問 公約した中学校給食実現の本気度を問う

はしもと 橋本 健 議員

A 理事 ①平成30年から令和元年にかけて中学校給食調査・研究委員会

で調査、研究を重ねてきました。一定の情報と資料が収集できたことから令和元年9月に一旦解散し、現在は各担当部署で分析、研究を行っています。

- ②平成18年12月に導入したランチサービスの喫食率は現在10%程度で、生徒や保護者に十分浸透していないと捉えています。

市長 ③子どもたちのより良い成長環境をつくるために日々努力をしてきましたし、これからもそうしてまいります。



全質問項目
◇中学校完全給食について

質問を行った議員名と質問項目、及び原則として最初の質問項目と回答内容の要約を掲載しています。



問 きらきらルームが抱える課題の解決を
神武 綾 議員

Q 今、子どもの育ちへの精神的なサポートの必要性は増している。

①常勤の公認心理師の雇用によって相談業務が飛躍的に充実した事例がある。人員配置の現状と課題を問う。
②独立した施設となることで支援が充実すると期待される。施設面の課題は何か。

A 理事 ①きらきらルームには係長1名、保育士3名がおり、言語聴覚士と臨床心理士が非常勤で週4日勤務しています。

②現所在地(いきいき情報センター内)は相談に行きやすい場所ですが、専用の広い部屋がない、隣室の音が気になるなど対処が必要な課題も抱えています。

全質問項目
◇子どもの成長発達支援の充実について
◇総合戦略推進委員会(まちづくりビジョン会議)について



問 国民健康保険の減免制度創設と事業の取組みは
藤井 雅之 議員

Q 国民健康保険税及び事業について2点伺う。

①多子世帯への均等割分課税を免除・減額する動きが全国で広がっている。国の判断を待つことなく減免制度創設を求めるが、見解は。
②新型コロナウイルス感染症の脅威が収束する見通しが立たないまま、2020年が終わろうとしている。医療、経済など、私たちの暮らしにもその影響が出ている。来年度、市全体の財政収入が厳しくなることが予測されるが、国保会計では2021年度の事業にどのように取り組んでいくのか、財政面からの考えについて。

A 部長 ①本市の国民健康保険財政にゆとりはなく、税収減につながる新制度の創設は厳しい状況です。福岡県市長会において均等割の軽減措置について今後も引き続き要望等を行ってまいります。

②歳出予算総額の約70%を占める医療給付は、歳入が減少した場合、全額、県からの普通交付金で賄われる制度です。当該年度の収支への影響はありません。国民健康保険事業の運営は、市民の皆さまの生活に直結してまいります。

全質問項目
◇国民健康保険税及び事業について



問 第五次総合計画の今後の施策計画は
堺 剛 議員

Q 総合計画とは、目指すべきまちの姿を明らかにし、総合的かつ計画的なまちづくりの指針を示すもので、市政運営の基本におくものである。本市では令和3年3月で10年の計画期間が終了するが、今後の計画について2点伺う。

①現総合計画の終了後、次期総合計画までの間、本市の支柱的な計画をどこに求めるのか。
②立地適正化計画や総合交通計画などの整合性をどのように図るのか。

A 理事 ①まずは10年間の市政の検証・評価が重要で、今は検証項目および検証方法などの検討をしています。現時点では、第2期総合戦略(まちづくりビジョン)を経営方針や予算編成方針の礎としています。

②社会資本に関する大きな予算を伴う計画は重要であり、慎重さも要します。第2期総合戦略を基に必要な検討を進めつつ、今後の新

全質問項目
◇第五次総合計画等や関連する諸施策計画について



問 なぜ宅地開発でできた道路が既設市道に接続できないか
原田 久美子 議員

Q 石坂二丁目24の宅地開発により整備された道路に2点伺う。

①宅地開発でできた道路と既設市道との間に通行止めガードレールが設置されており車両が通行できない。なぜこのようにしているのか。
②開発宅地の端部で道路が行き止まりになっている。今後の計画は。

A 部長 ①既設市道の道路幅員が4mに満たない箇所があり、接続道路としての基準を満たしていないため、宅地開発でできる道路を当該市道に接続させない条件で開発許可をしています。

②行き止まり道路になっている先の土地については、これまでのところ市への宅地開発などの相談・協議がありませんが、今後の計画については不明です。

全質問項目
◇開発道路について



石坂2丁目の宅地開発内道路



小島議員、門田議員、船越議員、宮原議員の一般質問録画映像はこちらから



問 公共施設の諸課題解決に待ったなし
小島 真由美 議員

Q 公共施設の老朽化は市の財政を圧迫する最大の課題である。そこで4点伺う。

①公共施設の統合や複合化など、今後の公共施設再編の取組みについて。

②保有資産や公共空間の活用など公共施設や市有地を最大限に有効活用する取組みについて。

③メンテナンスサイクルに技術職などの専門的意見を取り入れるなど職員のコスト意識向上の取組みについて。

④公共施設再編の体制を構築するなど、組織整備の必要性について。

A 部長 ①施設数の削減を主眼とせず既存の施設を適切に保持することを前提としていますが、財政見通しが不透明なため、慎重に検討を進めます。

②公共施設や公有地の敷地に余裕があり、利活用が可能と考えられるものは検討を行います。

③公共施設の管理は施設所管部署ごとに行っていますが、コスト意識向上のため、利用状況の把握を行っています。

④行財政の一体改革は全庁的な取組みが必要で、より効果的で効率的な組織体制が構築できるような調査研究を行っています。

公共施設の老朽化！



全質問項目
◆効果的な行財政運営について



問 太宰府歴史スポーツ公園の課題を問う
門田 直樹 議員

Q 6月の一般質問への文書回答を受けて伺う。

①公園内無許可倉庫群の撤去はどうなっているのか。

②芝の剥ぎ取りやフェンスの毀損に対し市はどう対応しているのか。

③多目的広場の芝生面積が公園台帳と指定管理仕様書で異なっていることを認めているが、これを放置するのか。

④より多くの市民の皆様に親しんでいただける公園づくりを目指すとしていたが、使えない公園にどう親しめばいいのか。

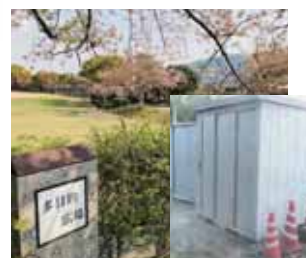
⑤太宰府市公園条例は無許可倉庫を撤去してか

A 部長 ①倉庫は団体から寄付を受けて市の所有物として違法状態を解消しました。今は行政財産使用料を負担してもらっています。

②故意である、故意でないにしろ、誰が剥ぎ取りや毀損を行ったか特定ができない限り現状復旧を求めることは困難です。

③時が経過し、減少要因の特定は難しく、今後に向けて利用方法の徹底を図ります。

④全体的により多くの市民の皆様に親しんでいただける公園づくりを目指してまいります。



歴史スポーツ公園と倉庫

全質問項目
◆太宰府歴史スポーツ公園について



問 コンテストでV字回復できるのか
船越 隆之 議員

Q 太宰府市観光経済V字回復について2点伺う。

①太宰府市観光経済V字回復の方向性について。

②V字回復の一助として実施している事業者向けコロナ対策アイデアコンテストにおける現在までの応募件数と審査方法について。

A 理事 ①当面は新型コロナウイルス感染症拡大防止に万全を期すべく考えられています。観光経済V字回復に向けては、太宰府天満宮、太宰府観光協会、太宰府市商工会、九州国立博物館と本市の5者で構成する太宰府市ブランド創造協議会などの関係団体と知恵を出し合いながら取り組んでまいります。

また、包括連携協定を締結した西日本鉄道や九州電力と連携して、体験型ふるさと納税返礼品の提供、観光資源を活用した新たなツアーの企画、太宰府の梅を活用した太宰府

全質問項目
◆太宰府市観光経済のV字回復について
◆歴史と文化の環境税の用途について



問 歩行者の安全をどう確保していくのか
宮原 伸一 議員

Q 市内には狭くて離合しにくい道路、見通しの悪い裏道、交差点からつい入ってしまうような店舗など、歩行者の安全対策を必要とする箇所がたくさんある。高齢者の運転による交通事故が社会問題化しているが、事故はハンドルを握るものすべてにとっての問題であり、また歩行者ばかりが注意して防げるものでもない。

①ガードレールやガードパイプ

②ゾーン30とグリーンベルト

それぞれの設置状況と今後の計画を伺う。

A 部長 ①市道の歩道延長は約34・4kmになりますが、うち約30・9kmに、車両の転落防止を目的としたものも含めて、ガードレール・ガードパイプが設置されています。設置は自治会からの要望に基づき現地確認のうえ行うこととしています。

②ゾーン30は平成25年度以降に市内3か所を指定しています。グリーンベルトは通学路を中心に総延長約7・4kmに設置しています。今後は国土交通省の取り組みである「生活道路対策エリア」の選定をすすめ、指定を受ける

全質問項目
◆歩行者の安全確保について
◆信号機および県道の整備の計画や進捗状況について



ことで得られるビッグデータを活用しつつ交通安全設備対策をすすめたいと考えています。



所管事務調査報告

総務文教常任委員会

日時:10月6日(火)午前10時～午後3時
場所:北谷運動公園、太宰府市民の森キャンプ場

コロナ禍において屋内の密集を避け、屋外で体を動かして余暇を過ごすことを求める市民が増加しています。市内にある運動施設やレクリエーション施設は設置から相当の年数が経過しており老朽化に伴う安全性の確保などに課題があることから両施設を視察しました。

北谷運動公園は指定管理者である市体育協会が自身の手で施設の修繕を行うなど、細やかな管理で利用者の快適な施設利用に努めていますがそれには限界もあります。

キャンプ場には利用促進を図るための駐車場の確保などの課題があります。



北谷運動公園

環境厚生常任委員会

日時:10月9日(金)午前10時～午後3時
場所:筑慈苑施設組合、保健センター、
地域包括支援サブセンター、
地域活動支援センターあす・ラック工房

今回、環境厚生常任委員会で視察に行った筑慈苑施設組合は春日市、大野城市、筑紫野市、太宰府市、筑前町で筑紫野市山家にある火葬場を運営しています。コロナ禍の中で視察時は会葬者の参加を10人までとするなどの対策が取られていました。視察終了後の総括では太宰府市としても市民に状況の周知を行うことなどを求めました。



地域包括支援サブセンターを視察中

建設経済常任委員会

日時:10月28日(水)午前10時～午前11時30分
場所:旧山ノ井池・安之浦池・奥ノ池

東北大震災では、多くのため池が被災し、決壊により尊い人命が失われ、人家や公共施設、農地が被災し、「ため池」の耐震調査と整備が急務となっています。

また、近年局所的な豪雨により全国で多くのため池が被災しています。

本市では令和2年9月議会において、ため池復旧工事の予算要求がありました。建設経済常任委員会の6名は、都市整備部長以下、担当職員から安全管理・保全について説明を受け、今後において、人命の安全確保のため3か所のため池の現地視察を行いました。



安之浦池の補修箇所

Q 五条交差点の安全安心な取組みについて3点伺う。
①現在ある時差信号機は車両が円滑に通行するためのもので、交通の安全面は二の次となっている。時差信号機の危険性について。
②時差信号機に替えて矢印信号にすれば、南北両路線が同時に赤となり安全性が高まる。すでに右折専用レーンが設置され条件は整っているが、見解は。
③過去に車両が歩行者をはねた痛ましい事故が発生している。歩行者が安全に渡れる交差点にすべきで歩車分離式信号(スクランブル交

A 差点)の導入を提案するが、見解は。
部長 ①君畑交差点からの車両流入が多いため時差式信号機になっており、天満宮駐車場から市役所本面への右折車両に対しては大型バス等が右折しにくい交差点であると認識しております。
②五条自治会から矢印信号導入の要望があり警察にも要望書を提出しております。
③歩車分離式信号は歩行者の安全対策として有効と考えています。ただ、今以上の渋滞を招くこと、五条駅入口交差点と連動させる必要

全質問項目

◇五条(セブンイレブン前)交差点の安全安心な取組みについて



五条交差点

もあることから、警察や地元自治会と協議、検討してまいります。

Q 市内小中学校に無線LANが整備され、児童生徒にタブレットが配布されることになった。しかし、電磁波に過敏な反応をする人が存在し、市が、国が謳う「誰一人取り残さない」教育を実現するためには健康面での配慮が必要になる。
システムの運用に当たって、マニュアルを策定し、不必要な電波を飛ばさないように運用することができると伺う。

A 理事 国は、電波防護指針の基準値を満足していれば安全上の問題はないとの認識で、本市の無線LANの機器も電波防護指針で定められた基準に準じて製造されています。
一方で総務省は、電波による人体への影響は研究を継続するとしており、本市でも電波に過敏に反応する児童生徒がいる可能性に留意・配慮し、必要に応じて専門機関とも連携して対応を検討します。

全質問項目

◇学校内無線LANの導入にともなう児童生徒の健康への配慮について
◇太宰府市携帯電話基地局の設置に関する指導要綱について



きは原則として電源を切ることを盛り込みたいと考えています。



問 五条交差点信号機を安全確保のために改善を
いりえ
入江 寿 議員



問 無線LANの導入で児童生徒の健康への配慮は
かさり
笠利 毅 議員

総務文教常任委員会

開催日:令和2年9月17日(木)

参加者:太宰府市文化協会(6名) 議員(6名)

コロナ禍における文化協会及び文化・芸術の現状を把握し、今後の議論に反映させるために、今回、文化協会との意見交換会を実施しました。

文化協会では、イベントやコンサートの準備が完了したところでコロナのために中止になり、チケットも販売されていたため、共催者とともに大きな損害を受けました。会員の負担軽減のために会費を半額にするとともに、行政、議会が経費削減していることから補助金の一部を返還しました。

議員からは、補助金の返還をする前に相談等すべきだったのではとか、体育協会のように市事業の指定管理を受け財源確保をしてはどうかなど、活発な質疑や提案がなされました。

環境厚生常任委員会

開催日:令和2年10月2日(金)

参加者:太宰府市民生委員児童委員連合協議会(20名) 議員(6名)

参加者の皆さんから寄せられた主な意見としては、次の通りです。

- ・民生委員の本来の仕事は高齢者の個別の生活支援であるが、児童委員としての、また地域福祉の担い手としての役割が拡大し、複眼的なフォローの必要性を感じる。
- ・行政にも包括的な支援体制を構築すると同時に、相談する側の視点に立った総合的な窓口を設ける工夫をしてほしい。
- ・住民の自主的な活動の活性化が、これから重要になってくるのではないだろうか。

これらの現場からの寄せられた生の声を、今後の新たな福祉のあり方につなげられるよう、委員会として力を尽くしていきます。

建設経済常任委員会

開催日:令和2年10月9日(金)

参加者:太宰府市商工会青年部(10名) 議員(5名)

コロナ禍のなかで商工業者皆さんの生の声を聞くことで、現状を知ることができました。

現状について建設経済常任委員会として市の執行部に伝え、問題の解決に向けて執行部と共に1つでも2つでも前進していきます。また、意見交換の場を毎年設ける事によって、商工業者の意見が集約できて行くと考えます。

各常任委員会の報告書及びアンケート結果は市議会ホームページに掲載しています。



◇編集後記◇

私が選ぶ2020年一番の笑顔は、はやぶさ2のプロジェクトマネージャー、津田雄一さん。

「やった!」というのではなく、「プレゼントを届けられた」という笑顔に思えてならなかった。すごく当たり前の笑顔を、しかし満面に浮かべてくれていたと思う。

コロナ禍で、「エッセンシャルワーカー」という言葉が脚光を浴びた。よかつたと思うけど、「いまさら」という違和感もある。カタカナ語だし、なんだか一部の人だけをさしているように感じてしまう。「働く人」を軽んじすぎる社会になっていたのだと感じた。昔から「職に貴賤なし」と言っていたと思うのだが。

当たり前に思えることが、実はとても大変なことだったと知ることができた2020年。2021年も、一日一日を、一人一人を、大切にしていきたいと思う。

(毅)

議会広報特別委員会

委員長 原久美子
副委員長 木村彰人
委員 藤井雅之
委員 橋本健
委員 入江利毅
委員 笠原莊一郎
委員 柳原